



海軍大將從二位勲二等野村吉三郎  
任特命全權大使

右  
勅七日ヲ奉シ謹テ奏ス

昭和十五年十一月二十六日

内閣總理大臣公爵近衛文麿

昭和十五年十一月二十五日 裁可

外務省

昭和十五年五月二十六日

昭和十五年十一月十五日

外務大臣 松岡洋右

内閣總理大臣公爵近衛文磨殿

海軍大將從二位勲一等功二級 野村吉三郎  
ヲ特命全權大使ニ御親任被為在候様致  
度此段及内申候也

外務省

外務省

昭和十五年五月二十七日親任

夕 影

Large empty rectangular area with vertical lines, likely a placeholder for a document or image.

閣第二九三號

起  
昭和十五年十一月

日  
裁可昭和 年 月 日  
決定昭和 年 月 日  
施行

昭和十五年十一月五日

内閣總理大臣 文

内閣書記官長

内閣書記官

拝復陳者海軍大將野村吉三郎ニ關シ手  
續進行方御申越ノ件了承本月 日  
内奏御允許ヲ仰キ候條御諒知相成度  
此段申進候

十五年十一月二十五日

内閣總理大臣

外務大臣宛

榘格陳光海軍大將

卯村吉之郎米國

駐劄大使御親任

義河内詔ヲ遂ニテ

吾道今一殺年績相付

及有衣桑可成至急

男大内新子内美子家

何多義御四年

相破方一及及内親

一  
殺具

十月八日

松岡力助大佐

近衛内閣總理大臣殿



任臺灣總督

海軍大將從三位勳一等功四級長谷川清

臺灣總督小林躋造

依願免本官

右

勅 七日ヲ奉シ謹テ奏ス